

マニー水守の見聞雑記-2

広島支部 水守 寛敏

1. はじめに

今年の中四国ブロック大会は岡山市で実施されたが、10月の全国大会は別府市で開催される。岡山・大分の両県には建築家・磯崎新の作品があり、ここではBCS賞を受賞した「ビーコンプラザ」(別府市)と「奈義町現代美術館」(岡山県奈義町)を紹介する。

2. ビーコンプラザ

「大分県立別府コンベンションセンター」と「別府市市民ホール」で構成された複合施設で、1995年に竣工した。ファサードのガラスカーテンウォールは、街路樹などの周辺環境を映し出すことで、地域に溶け込んでいる。一方で、建物内部へは適度な光を取り入れ、トップライトの淡い光と合わさって、エントランスホールは白い清潔感を醸し出している。エントランスホールの



左右には、最大 8,000 人を収容できるコンベンションホールと、音楽専用のフィルハーモニアホールが配置されている。また、敷地には高さ 125m の展望塔「グローバルタワー」があり、別府公園内の海拔 0m 地点を直径 1km の球の中心とし、その曲面の一部とそれに交差する円柱部で形成されている。



3. 奈義町現代美術館

公共施設としては世界で初めて建築家と芸術家が共同制作した現代美術館で、1994年に開館した。荒川修作+マドリン・ギンズ、岡崎和郎、宮脇愛子の芸術家が巨大作品を、磯崎新がその空間を担当し、作品と建物が一体化されている。3つの展示室は太陽・月・大地で表現され、「太陽」は南北軸、「月」は中秋の名月(午後10時)の方角、「大地」は那岐山頂に向かって、それぞれ固有の軸線を持たしている。



4. 築留二番樋 (大阪府柏原市)

大和川の河川水を農業用水路の長瀬川・玉串川へ取水するために設けられた樋で、1704年(宝永元年)に付け替えられた。1888年にはイギリス積みの煉瓦造りの単アーチ型樋門に造り替えられ、各壁の天端と床面には花崗岩が敷き詰められている。現在も農業用水として利用され、周辺のまちなみの中に解け込んでいる。



5. おわりに

もともと私は建築屋であったが、いつの間にか水道屋へ転身してしまった。見聞雑記は「建築」の他に「水」もキーワードに含めている。「築留二番樋」は「水」をテーマにしたお気に入りの場所である。

MONTHLY 建築士
 No.114

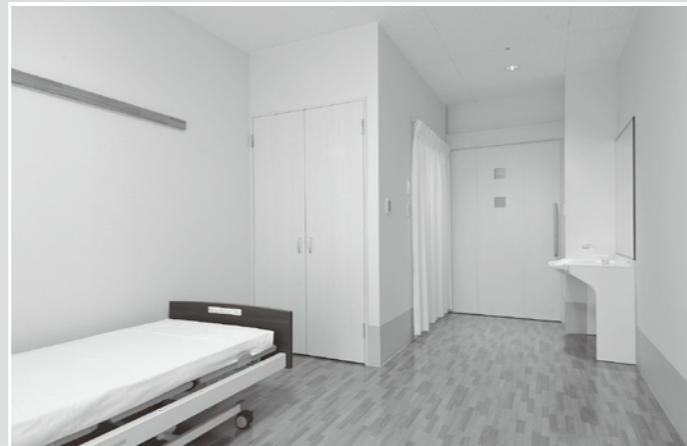
HIROSHIMA



表紙写真について

ときわ台特別養護老人ホーム

- 設計監理／(有)アリック デザインスタジオ
- 施工／シンクストラクション 株式会社
- 所在地／東広島市八本松町原
- 構造規模／鉄骨造 地上2階
- 延床面積／3,508.05㎡
- 用途／地域密着型特別養護老人ホーム
ショートステイ・デイサービス
- 竣工／2015年5月



平成27年6月、ユニット型特養29床で10人から9人による3ユニットに、ショートステイ10床とデイサービスを併設する施設としてオープンした。外観は地元の田園風景に溶け込むよう、赤瓦を採用。内部はユニットごとに内装に変化を持たせている。特色のある機能としては、国・東広島市のモデル事業として多世代交流施設を併設。子どもたちと高齢者の触れ合い交流を進め、親睦を深めることで地域の活性化を図ると共に、高齢者の生きがいと子育て支援を地域ぐるみで行う契機になればという狙いがある。

■住宅省エネルギー(施工・設計)技術者講習会

国土交通省は、新築住宅について2020年までに省エネ基準への100%適合化を目指しています。この講習会では、断熱に係る施工技術、断熱の設計ノウハウ等について習得して頂きます。なお、地域型住宅グリーン化事業においては、元請け施工業者に必ず1名、住宅省エネルギー講習の修了者が所属している住宅のみが補助対象となっております。下記の日程で開催致しますので、専用ホームページからお申し込み下さい。<http://www.shoene.org/>

▼施工

9/11	10/8	10/16	10/30	11/12	11/20	12/11	29/1/14
広島横川	福山	三次	呉	広島大州	福山	広島横川	広島大州

▼設計

9/14	10/5	10/19	11/9	11/22	12/1	12/18	29/1/17
広島	広島	福山	広島	福山	広島	広島横川	広島

■広島県ヘリテージマネージャー養成講習会

現在、申し込み受付中です。詳しくは7月号同封のリーフレットか、当会HPをご覧ください。

▼日時

平成28年8月27日(土)～
平成29年1月21日(土) 10回

▼定員

30名(定員になり次第締切)

▼受講料(教材費含む)

広島県建築士会会員 36,000円
一般 42,000円

ふるじえくと ニュース

都市内木造の可能性を考えるゼミナール第1回開催 広島支部まちづくり委員会

講演：鹿島のFRウッドについて

講師：鹿島技術研究所 抱 研究員

日時：10月1日(土) 16:30～18:30

※詳細はマンスリー9月号でお知らせします。

《お詫びと訂正》

No.174(7月号)12P賛助会員のご紹介に誤りがございました。お詫びするとともに、訂正させていただきます。

大之木建設(株)

代表取締役社長 大之木 洋之介

〒737-8502 呉市中央3-12-4
☎0823-26-1511
<http://www.onoki.co.jp>

CPD認定プログラム(8～10月の広島県内実施分)

7月11日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
8/18	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
8/18	最新技術を活用した評価点アップの手法と現場の省力化	6	インターウェブ	099-812-0677
9/9	耐震リフォーム達人塾(ベーシックコース)	3	広島県建築課	082-513-4133
9/9	建築構造設計・温故知真 -既存建築物の危険性と説明責任-	2	広島県東部生コンクリート協同組合	084-973-2155
9/15	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
9/21	建築士会インスペクター養成講座	4	広島県建築士会	082-244-6830
9/29	「基礎ぐい工事監理ガイドライン」の解説講習会	4	広島県建築士会	082-244-6830
10/12	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-01)	6	広島県建築士会	082-244-6830
10/13	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
10/19	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-02)	6	広島県建築士会	082-244-6830

「より早く・より公正に・より親切に」をモットーに より確かなサービスを提供します

- 指定確認検査機関
- 登録住宅性能評価機関
- 指定構造計算適合性判定機関
- 登録建築物調査機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 長期優良住宅認定審査業務
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 調査診断業務(耐震診断等)
- 耐震診断判定業務
- 住宅省エネラベル適合性評価業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)評価業務
- すまい給付金関連業務



株式会社 **ジェイ・イー・サポート**

URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-8-6F
TEL: 082-836-3300 FAX: 082-228-8201
支店: 東京

e-mail: mail@jesupport.jp

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)

認定低炭素住宅 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 住宅省エネラベル

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぴんカバーしています

Energy+ ハウスプラス中国住宅保証株式会社
<http://www.jutakuhosho.com/>

広島本店: 広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル 1階
TEL: 082-545-5607 FAX: 082-545-5608
広島北支店: 広島市安佐南区西原 6-9-40-7 TEL: 082-832-3310 FAX: 082-875-4330
福山支店: 福山市西深津町 1-10-1 TEL: 084-973-9143 FAX: 084-973-9146

安全で安心な住まいづくりをサポートします。

- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査
- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ すまい給付金サポート
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ 地域型住宅グリーン化事業申請窓口
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 **広島建築住宅センター**

URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

「呉YWCA」が「なかなか遺産」第3号に認定されました

呉地区支部 副支部長 家頭 昌子

6月19日「なかなか遺産」第3号認証式、それは激動の1年を乗り越えた先に待っていた喜びの日でした。建物の売却話や「広島YWCA」との合併話に揺れ、理事も会員も暗い顔をしていた去年の今頃。出口の見えない迷路に入り込んでしまったような長い時間を積み重ねていた時には、まさかこんな笑顔で過ごせる日が来るとは思っていませんでした。東京大学から腰原幹雄・村松伸両教授、それぞれの研究室から准教授・学生・卒業生、また明治大学からも准教授・学生、プロの写真家、一関・内子町・九州から、たくさんの方が日本各地から駆けつけてくださいました。人の繋がり、ご縁に助けられて、「呉YWCA」の建物が、「なかなか遺産」第3号に認証されました。



■認証式

「国際なかなか遺産推進委員会」共同代表である村松伸先生から、呉YWCA会長の永富彌古さんに、認証状とプレートが渡されました。認証状は世界遺産の認証状と同じデザインだとか。プレートは正面入り口に取り付けられる予定です。



■祝辞と会長挨拶

なかなか遺産第1号の阿部えみこさん、有座まさよさん、明大の鞍田准教授、「なかなかの妖精」の生みの親である木村亜維子さんからお祝いの言葉を頂きました。その後、呉YWCA会長の永富さんが認証の喜びと今後の夢をお話しされ、認証式は笑顔に包まれて閉会となりました。



木村亜維子さん

■講演会—なかなか遺産と呉YWCA

「国際なかなか遺産委員会」共同代表である腰原幹雄先生から、呉YWCAの魅力となかなか遺産に選ばれた理由をお話し頂きました。当時としては最前の技術と知恵で造られ、3世代にわたって守り続けようとしている呉YWCA。肩の力を抜いて、「楽しさ」で繋げていくようにとエールを頂きました。なお呉YWCAは数あるなかなか遺産の中で「パツパツ系」に分類されており、HPのデザインも呉YWCAがモデルになっています。



■なかなか遺産フラッグの引き渡し

なかなか遺産第2号「旭館」館主である森秀夫さんから、なかなか遺産フラッグがなかなか遺産第3号である呉YWCAに引き渡されました。フラッグには「なかなかの妖精」のかわいいマスコットが縫い付けてあります。旭館は、大正14年に愛媛県内子町に造られたユニークなファサードの活動写真館。森文醸造の森さん達の保全活動によって、現在も映画の上映などが行われています。



阿部えみこさん、左は司会の岡村理事

前夜祭「有座まさよさんとなかなか遺産第3号の折り紙を作る」&呉YWCAライトアップ

呉地区支部 まちづくり委員会 橋田 勇人

6月18日(土)16時から呉YWCAにて、なかなか遺産認証式の前夜祭として、建築士で折り紙建築作家の有座まさよさんを講師にお迎えして「なかなか遺産第3号の折り紙を作る」を開催しました。

折り紙建築とは、1枚の白い紙に切れ目と折り目を入れ、立体を立ち上げ、折り畳めるといいます。ちょっと聞いただけではどんな物なのか想像できないと思いますが、実際に製作してみると、すごく細かい作業が必要で、途中でじけてしまいそうになります。それでも頑張って作ると、魔法のように立体の建物が現れてくるのです！目指していた呉YWCAの形が折れた時は、なかなかの感動でした。

折り紙建築を楽しんだ後、懇親会として呉YWCAの庭でバーベキューを行いました。その際、サプライズとして、建築士会呉地区支部まちづくり委員会から1日限定で呉YWCAのライトアップを実施させて頂きました。懇親会に参加されていた「なかなか遺産委員会」関係者や呉YWCA関係者の方にも大変喜んで頂きました。

こうして盛りだくさんだった前夜祭は、盛況のうちに終了しました。



浅川敏先生撮影

呉YWCAの建物と多くの人の願いの歴史

呉YWCA代表理事・会長 永富 彌古



私達、呉YWCAの動きが息も耐えそうになっていた昨年、皆様の仲間でもあり、私達の理事でもある家頭昌子さんを通してなかなか遺産に出合わせて頂き、しかもその一連の動きに関して、人材・人脈・技術・時間・カンパ等々

私達、呉YWCAの動きが息も耐えそうになっていた昨年、皆様の仲間でもあり、私達の理事でもある家頭昌子さんを通してなかなか遺産に出合わせて頂き、しかもその一連の動きに関して、人材・人脈・技術・時間・カンパ等々

多大なお支えを頂きましたことを、心からお礼申し上げます。何よりの感謝は、「私達の財産である、あの建物の価値」を皆様から教えて頂いたことです。皆様方やその専門性に出合え、私達の知らなかった「建物の世界」を開いてくださったことです。そのおかげで、私達は呉YWCA発足時から今日までの、先輩達の強い祈り・願い・働き・笑い声と再度出会うことができ、力を頂きました。感謝の思いでいっぱいです。

呉YWCAのこれから

まちづくりとは、建物や道路といったハード面、歴史文化のソフト面を、保護・改善することによってさらに住みやすいまちにしていく活動と言われています。

歴史的建造物の保存も、単に美術的に優れているという観点だけでなく、町の個性を作ったり、コミュニティの核になるというまちづくりの観点から捉えられることが多くなってきました。

この呉YWCAの建物も地域に根差し、地域の中でずっと時を重ねてきました。社会の流れから隔絶されてしまったような時代を経験し、衰退し消え去ろうとした時を経て、もう一度地域の活動拠点として、集える場所として再び歩み出そうとしています。

2月の講演会以降、呉YWCAの建築士会に寄せる信

頼と希望は大きくなっています。呉YWCAにとって建物の保存改修はもとより、地域の中での活用など、現状を打破し前を向いて進むために、職能を持った建築士会との連携を望まれていることをひしひしと感じます。

同時に、まちづくり活動を担う建築士の役割の大きさと、建築士会と地域との連携の必要性も強く感じています。「建物を維持していくためには、持ち主の意思とそれを支える人の気持ちが大切」と、腰原幹雄先生が繰り返しおっしゃる意味が痛いほど伝わります。なかなか遺産の輪が広がり、お互いに励まし合い、仲間を増やしていけるよう、まずは呉YWCAの建物の保全と改修に取り掛かりたいと思います。腰原先生との下話で、今年9月から耐震診断の作業に取り掛かることになりました。現段階ではどのように作業を進めていくかまだ決まっていますが、着実に一歩ずつ前進したいと思います。(家頭 昌子)